

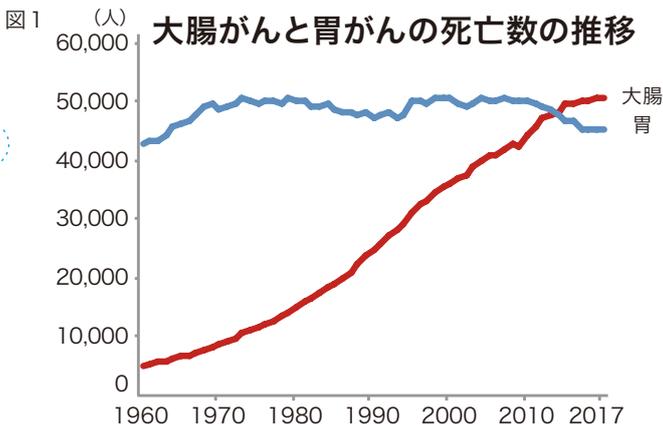


CONTENTS (目次)

- ▶ 【特集】大腸がん
- ▶ 健診のご案内
- ▶ コラム「小発健」



日本人に大腸がんが増えてるって本当？



A. 本当です！



国立がん研究センターの統計によると、2017年の大腸がんの死亡数は約5万人を超え、過去最多となっています。日本人に多い胃がんの死亡数が2011年から減少に転じているのに対し、大腸がんの死亡数は増加の一途をたどっています。

大腸がんは部位別のがん患者数でも第1位！

2014年のがん患者数の部位別順位

図2

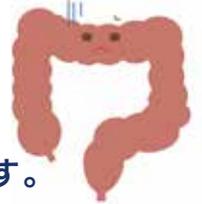
	1位	2位	3位	4位	5位
男性	胃	肺	大腸	前立腺	肝臓
女性	乳房	大腸	胃	肺	子宮
男女計	大腸	胃	肺	乳房	前立腺

がんの患者数を部位別にみると、男性は大腸がんが3位、女性は乳がんに次いで2位となっており、男女合計では、2位だった大腸がんが2014年には胃がんに代わり1位となりました。大腸がんが増えている要因には、食生活の欧米化や、飲酒などの生活習慣が背景にあるとされています。

▶ 気になる大腸がんの特集は次ページから！



もっと知ろう！大腸がん



この特集では、大腸がんを早期発見するためのポイントをお伝えします。

大腸がんは早期発見でほぼ治る！

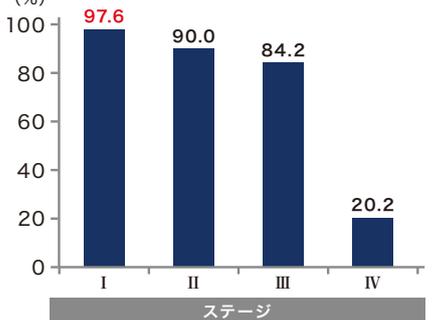
大腸がんとは、大腸（結腸、直腸）に発生するがんで、腺腫（良性ポリープ）ががん化して発生するものと、正常な粘膜から直接発生するものがあります。

進行すると、腸壁をやぶり周囲の組織や臓器に広がったり、転移したりします。特に肝臓への転移が多くみられます。50歳代～70歳代が大腸がんになりやすい年齢です。

生活習慣に関わりがあるとされていて、赤肉（牛、豚、羊など）や加工肉（ベーコン、ハム、ソーセージなど）の摂取、飲酒、喫煙により発生の危険性が高まるといわれています。

大腸がんは早い段階で見つかり、ほぼ完治するといわれていますが、進行すると生存率が下がってしまいます。しかし、**早期がんでは自覚症状はほとんどありません**。進行するに従い血便、便秘、下痢などの症状が出てきます。そのため症状が出て、病院を受診する頃にはがんが進行してしまっていて完治する可能性が下がってしまいます。

大腸がん臨床病期別5年相対生存率
(2007～2009年診断症例)



(全国がんセンター協議会加盟施設の生存率共同調査)

便潜血検査は簡単で有用性が高い！

総合保健医療センターの人間ドックでは、大腸がんのスクリーニング検査として**便潜血検査**を実施しています。この検査は大腸がんやポリープなどによる出血が便に混じっていないかを調べます。

★簡単

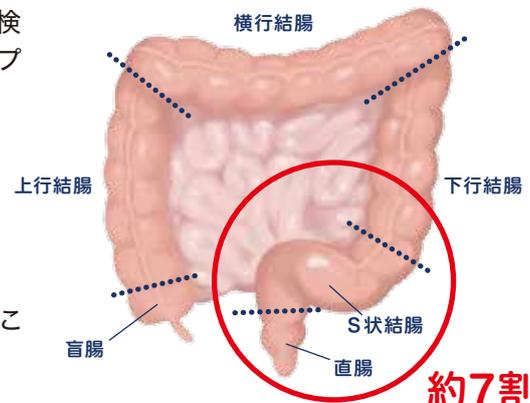
便潜血検査は、便の表面をこすり取るだけの簡単な検査です。

★早い段階でも見つけられる

自覚症状がない段階から見つけることが可能です。

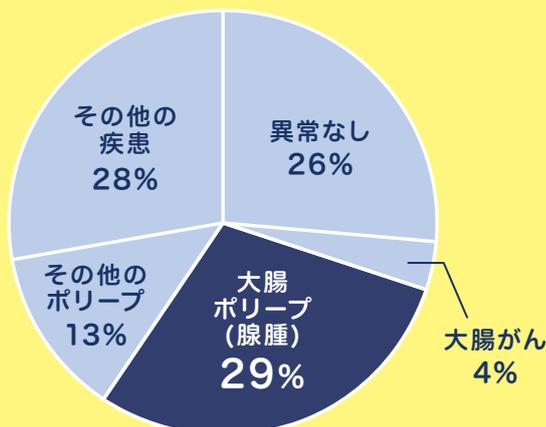
★発生頻度の高い部位の出血を捉えられる

大腸がんでは、約7割がS状結腸と直腸に発生します。便潜血検査はこの発生頻度が高い部位の出血をしっかりと捉えることができます。



約7割！

【平成29年度D判定者の精密検査結果】



左のグラフは平成29年度に総合保健医療センターでD判定(要精密検査)となり、精密検査を受けられた方の結果です。がんになる可能性のある良性ポリープが約3割の方に見つかっています。

このように、便潜血検査はがん死亡率を減らす科学的根拠があり、安全、簡単、安価な検査です。

がんは1回の検診で見つからないこともありますので、毎年定期的に受診しましょう。

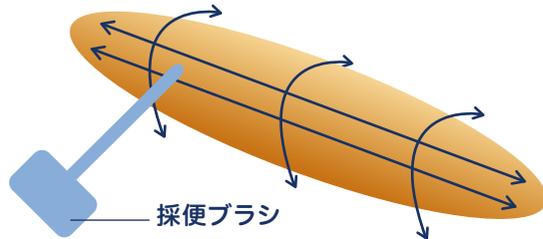
また、検診と検診の間に発生して、急速に進行するがんもわずかながらあります。血便、腹痛、便の性状や回数の変化など、気になる症状が続く場合は、次の検診を待たずに医療機関を受診してください。

正しい検査は正しい便のとり方から！

採便容器の入った袋内にある「正しい便のとり方」をお読みになってから採便してください。
ここでは特に注意するポイントをまとめました。

POINT ①

大腸に接しているのは、便の表面ですので、表面をまんべんなくこすりとります。



便に刺すのではなく、
表面をこすりとってください。

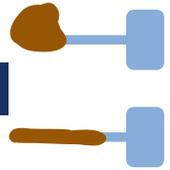
POINT ②

採便したブラシを容器へ戻すのは1回だけ。
便の量は先端の溝に埋まるくらいで十分です。
とりすぎ、少なすぎは正しい検査ができません。

○ 適正



× 多すぎ



POINT ③

採便後の容器の保存方法
陽のあたらない涼しい場所で
保存してください。

冷蔵庫が一番望ましいですが、
気になる方は冷暗所で保管しましょう。



検査で陽性になったら 必ず大腸内視鏡検査を受診しましょう！

便潜血検査で陽性になった場合、病院を受診し、精密検査として「大腸内視鏡検査」を受けましょう。
便に血液が含まれているということは、大腸に前がん病変（がんになる原因）のポリープや
早期の大腸がんがある可能性があります。

【大腸内視鏡検査とは】

大腸内視鏡検査は肛門から太さ11～13mm程度の細長く、軟らかい内視鏡を挿入し、直腸から盲腸までの大腸全体の内部を観察する検査方法です。この検査によって、大腸がん、大腸ポリープ、大腸憩室症、炎症性腸疾患などの大腸、直腸の疾患を発見できます。大腸がんには腺腫という良性ポリープががん化して発生するものがあります。大腸内視鏡検査を受けると、この腺腫を検査と同時に切除することができます。そのため、この検査を受けることで、大腸がんの発生をぐっと減らすことにつながります。

「大腸内視鏡検査は前処置が大変」「こんなに苦しい検査はない」という経験
やイメージで精密検査を受けないままいませんか？

大腸内視鏡検査で病変が見つかった場合は、組織を採取したり、ポリープや
早期のがんを切除できたりと利点がたくさんあります。
便潜血が陽性の方は放置せず、精密検査を受けましょう！



……便潜血検査は、精密検査にはなりません

大腸がんはいつも出血しているわけではなく、出血する日としない日があります。そのため便潜血検査が陽性なのに、精密検査を受けずに再度便潜血検査を受け、その結果が陰性だったからといって大腸にがんなどの病気がないとは決して言えません。したがって、大腸がんの発見が可能であることはもちろんのこと、大腸がんのリスクも同時に減らすことができる大腸内視鏡検査を必ず受けましょう！



健診のご案内
あなたの未来と大切な家族のために・・・

50歳の方必見！※



脳ドックがお得に受診できます。

通常価格 34,000円(税込) → 10,000円(税込)

※対象者:受診年度内に50歳の誕生日をむかえる春日井市民の方



健診フロア



MRI装置

- ◆脳ドックは、脳血管疾患(脳卒中など)のリスクを早期に発見することを目的としています。
- ◆頭部MRI検査で脳梗塞リスクを、頭部MRA検査でも膜下出血の要因となる未破裂脳動脈瘤リスクを主に調べます。さらに、頸動脈超音波検査で脳血管疾患全般の発症原因となり得る動脈硬化の進行度をチェックします。
- ◆若い世代から働き盛り世代の人まで幅広い年代で疾患リスクが見つっています。今まで脳ドックを受けたことのない方も一度は受診することをおすすめします。
- ◆人間ドックのオプションとして受診できるコースがあります。詳しくはホームページをご覧ください。

ホームページ



予約専用ダイヤル

春日井市総合保健医療センター

☎ (0568) 84-3070

平日午前8時30分から
午後5時まで
(祝休日・年末年始除く)

コラム

小発健

だんだんと春らしい陽気になり、お散歩するのが気持ちのよい季節になってきました。家の周囲を散策するだけでも、桜が見ごろを迎えていたり、土手には春の植物が芽吹いていたり、色々な発見があり楽しい時期ではないでしょうか。

ところで、ここ総合保健医療センターのある春日井市民病院敷地内にも、散策路があるのをご存知でしたか？市民病院南側に、溜池と小さな広場を囲むように遊歩道が敷かれています。散策路を一周してみると、羊の親子がいたり、溜池にはカルガモが泳いでいたりと楽しみながらお散歩できますよ。お時間のある際にはぜひ散策路にも立ち寄って、他にはどんな動物がいるか探してみましよう。



公益財団法人春日井市健康管理事業団
<https://www.kasugai-kenkou.com/>

春日井市健康管理事業団

